

2012 年度セミナー 「日本の化学産業の戦略と事例 中四国地区の取り組み」

主催 化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会

【趣旨】中四国地区（岩国・大竹、愛媛）には、日本の石油化学プラントの発祥の地とされる化学プラントがあり、日本経済の発展や停滞を経験しながら半世紀以上にわたり共に歩んできた。しかしながら、近年、材料や製品の急激なグローバル化による価格競争と世界経済マップの急激な変化とともに日本国内の少子高齢化社会問題やエネルギー・地球環境に対する火急な技術革新が求められるなど、日本国内の化学コンビナートは地理的要因を越える、質的な改革が求められている。果たして日本の化学産業は今後どう生き残り、また、世界に貢献する産業として成長していけるのか。中四国地域の独自の取組みを交えつつ、日本の化学産業を俯瞰した議論が強く求められている。

そこで本セミナーでは、当分野においてご著名な講師の方をおよびし、中四国地区の化学コンビナート、広くは化学産業が置かれているマクロ的・ミクロ的な状況や将来あるべき姿など、忌憚のないご意見を伺うとともに、当地区の方々と課題を共有し横断的に意見交換を行い、発展的なセミナーを開催したいと考えております。

開催日時：2012 年 11 月 9 日（金） 10：00～16：45 （交流会 17：00～19：00）

開催場所：アステールプラザ 4F 大会議室 A・B
〒730-0812 広島市中区加古町 4-17
（財）広島市未来都市創造財団
TEL：082-244-8000

アクセス：・バス：広島駅 A ホーム 3 番乗り場
（広島バス 24 番路線）吉島営業所行または吉島病院行ー加古町 下車（徒歩 200m）210 円
・市内電車：広島駅 広島港行（紙屋町経由）ー市役所前下車（徒歩 600m）
または江波行ー舟入町下車（徒歩 400m）150 円
・タクシー： 15 分、約 1500 円



プログラム：

主催者挨拶

(10：00～10：10)

広島大学大学院工学研究院 教授 都留 稔了氏

〔講演〕 (10：10～16：45)

【次世代化学コンビナートの展望】

1. 中国地域次世代コンビナート形成プロジェクトの戦略と将来展望（仮） (10：10～10：50)
中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長 村上 俊浩 氏
2. 次世代化学産業を支えるコンビナートの形成：特色を活かした役割の再定義 (10：50～11：50)
成城大学 経済学部 専任講師 平野 創 氏

< 昼 食 (11：50-13：15) >

【化学物質戦略からみた事業展開事例】

3. 三菱レイヨンのメタクリル酸メチル(MMA)を中心にした戦略 (13：15～13：55)
三菱レイヨン (株) MMA 技術統括室 室長 重光 英之 氏

【化学コンビナート運営・人材育成の効率化】

4. ダイセル方式のミエル化をどう役立てるか (13:55~14:45)
(株) ダイセル 生産技術室 生産革新センター 所長 小園 英俊 氏

< 休憩 (14:45-15:00) >

【化学工場運営と人材育成】

5. よりよい化学工場の運営を目指して～「工場の使命」を果たすための理念と方法 ～ (15:00~15:50)
住友化学(株) 愛媛工場長 小中 力 氏

< 休憩 (15:50-16:00) >

6. パネル討論 (16:00~16:40)
司会 広島大学大学院工学研究院 教授 都留 稔了氏

主催者閉会挨拶 (16:40~16:45)

〔交流会〕(17:00~19:00)

アステールプラザ内 1F (西側川沿い) カフェ・レストラン ラコントル
〒730-0812 広島県広島市中区加古町 4-17 TEL : 082-247-3910

定員:100名

参加費(消費税込み):セミナー 4,000円(昼食の弁当代を含む)、交流会 3,000円

申込方法:参加者氏名、勤務先、所属、連絡先(住所、電話、FAX)、送金予定日、交流会参加/不参加を明記し、電子メールまたはFAXでお申込み下さい。

参加費は、現金書留または銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金 1058275 中国地区化学工学懇話会)をご利用下さい。

申込締切:2012年10月26日(金)

申込先:〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1 広島大学大学院工学研究院物質化学工学部門化学工学講座
中国地区化学工学懇話会事務局

TEL (082) 424-7718, FAX (082) 424-5494, E-mail : ysasa@hiroshima-u.ac.jp